

施策マネジメントシート

基本施策名	07	生涯学習の環境づくり	施策 統括課	生涯学習課	氏名	石田 進
政策名	3	文化・生涯学習・スポーツ	主な 関係課	くにたち中央図書館、生涯学習課		

1 施策の目的と指標

対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民

施策の目的 市民一人ひとりが生涯学習に取り組み、様々な局面で学ぶことができるとともに、様々な学びを通して、学習の成果を地域社会で活かすことのできるまちを目指します。

対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称		単位
ア	人口	人
イ		
ウ		
エ		

成果指標(意図の達成度の指標)数字は記入しない

名称(展開方向ごとに記載)		単位	
1	ア	日常何らかの生涯学習に取り組んでいる市民の割合	%
	イ	市が主催する生涯学習事業の参加者数	人
2	ア	図書貸出冊数	万冊
	イ	公民館使用者数	人
3	ア	学習活動に取り組んでいる市民の中で、学習を通じて身につけた知識や技術を地域や社会に生かしている市民の割合	%
	イ		
4	ア		
	イ		

2 第1次基本計画期間(平成28~令和5年度)内における取組内容

施策の展開方向	目的	手段(具体的な取組内容)
1	学習機会の充実と学習情報提供の推進 日常的に様々な生涯学習に取り組む市民を増やすとともに、学習を通じて生きがいを得ている市民を増やします。	一人ひとりのテーマに合わせた学習情報の提供を推進します。公民館・図書館等の公共施設や教育施設等を活用した学習・交流機会の提供を推進します。市内の大学・高校等の多様な「知の拠点」との連携により、学びを深める機会を創出します。
2	学習成果を活かせる環境づくりの推進 生涯学習による市民の学習成果を学校・家庭・地域等の日常で活かせる環境づくりを推進します。	図書館協力ボランティアなど、学習成果を学校・家庭・地域等の日常で活かせる環境づくりを推進します。幅広い分野で展開している事業を相互に連携させることにより、学校・家庭・地域の教育力向上の効果が高めるため、生涯学習施策を体系化します。
3		
4		

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値、実績状況把握

単位		数値区分	H27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	目標達成度			
対象指標	ア	人	見込み値 実績値	74,546 75,384	75,466 75,932								達成・ 未達成	前年度 比較	
	イ		見込み値 実績値												
	ウ		見込み値 実績値												
	エ		見込み値 実績値												
成果指標	展開方向1	ア	%	成り行き値	62.3	62.3	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	未達成	低下	
				目標値	64.0	64.7	65.5	66.2	67.0	67.0	68.0	69.0			70.0
		実績値	66.8	67.9	63.1	61.2									
		基本計画における 指標の説明又は出典元		国立市市民意識調査											
	イ	人	成り行き値										達成	低下	
			目標値	8,000	8,250	8,500	8,750	9,000	9,250	9,500	9,750	10,000			
	基本計画における 指標の説明又は出典元		公民館における生涯学習事業の参加者数												
	展開方向2	ア	万冊	成り行き値									未達成	低下	
				目標値	51.0	51.5	52.0	52.5	53.0	53.5	54.0	54.5			55.0
		実績値	53.7	50.8	50.3	49.8									
		基本計画における 指標の説明又は出典元		図書貸出数											
	イ	人	成り行き値										未達成	低下	
			目標値	71,000	71,500	72,000	72,500	73,000	73,500	74,000	74,500	75,000			
	基本計画における 指標の説明又は出典元		公民館施設使用者数												
	展開方向3	ア	%	成り行き値	54.6	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	未達成	低下
				目標値	34.0	34.7	35.5	36.2	37.0	37.7	38.5	39.2	40.0		
実績値		34.4	35.6	34.5	32.0										
基本計画における 指標の説明又は出典元		国立市市民意識調査													
イ		成り行き値													
		目標値													
基本計画における 指標の説明又は出典元															
展開方向4	ア		成り行き値												
			目標値												
	基本計画における 指標の説明又は出典元														
	イ		成り行き値												
目標値															
基本計画における 指標の説明又は出典元															
事務事業数		本数		17	14	11									
施策コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円											
		都道府県支出金	千円			16,100	3,000								
		地方債	千円												
		その他	千円												
		一般財源	千円		143,114	91,990	79,598								
		事業費計(A)	千円		143,114	108,090	82,598	0	0	0	0	0			
	人件費	延べ業務時間	時間		67,640	61,734	60,372								
		人件費計(B)	千円		211,555	187,142	185,384								
		トータルコスト(A)+(B)	千円		354,669	295,232	267,982	0	0	0	0	0			

4 施策の成果実績値に対する評価

(1) 時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上)～E(かなり低下)

C:成果はほとんど変わらない(横ばい状態)

(2) 他自治体との成果実績値の比較 A(かなり高い)～E(かなり低い)

B:他自治体と比べてどちらかと言えば高い成果水準である

背景として考えられること

国立市は市民の自治意識が高く、他市に比べ社会教育や生涯学習に取り組んでいる市民の割合が高い傾向にあることが考えられる。
公民館の生涯学習事業参加者は中高生学習支援や外国人向け日本語講座等の減少が要因であった。
図書館の資料貸出数は2年連続の微減であるが、インターネットの普及等により情報を取得する方法が多様化したとの推測から、市民がツールを使い分けている状況もあると考える。

5 施策の現状 必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？

・近年、市民の学習機会の多様化・高度化により、学習活動が活発化する一方、地縁や人間関係の希薄化など多くの課題が生まれている。そのような社会環境を改善するため、行政は地域連携や生涯学習施策などを通じ、将来にわたる学習環境の整備や地域への学習還元などを推進・支援することが求められている。

・第2期教育振興基本計画(平成25年6月閣議決定)では知識を基盤とした自立、協働、創造をキーワードに生涯学習社会を実現することで、個々人の自己実現、社会の「担い手」の増加、格差の改善、社会全体の生産性の向上、一人ひとりの絆の確保が図られ、少子高齢化やグローバル化など我が国が直面する危機の回避につながるとしている。

・2019年12月の中央教育審議会答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」では、地域の実情を踏まえ、より効果的と判断される場合は、公立社会教育施設の首長部局移管の特例を認めている。

・国立市では、第22期社会教育委員の会に諮問を行い、意見を聴取し庁内検討委員会にて「国立市生涯学習振興・推進計画案」の策定を行っている。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

・住民や議会からは生涯学習施設の増設・開設時間延長や生涯学習活動の充実、直営方式の維持などが求められている。

6 H30年度の評価結果 必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 施策の取組状況

H30年度の取組状況	R1年度の取組予定
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館では現代的課題や地域・生活の課題などの様々なテーマを取り上げ、市民の自主的な学びを促し、学習が地域還元されるよう社会教育を実践した。 ・庁内検討委員会を新たに設置し、「生涯学習振興・推進計画(案)」を作成した。 ・第21期図書館協議会における報告と提言を協議会から受け、第22期図書館協議会が発足した。 ・公民館外壁改修工事の設計を行った。 ・若者支援事業、中高生の学習支援事業を実施した。 ・第三次子ども読書活動推進計画を策定した。 ・北市民プラザ図書館において乳幼児向け新規事業赤ちゃんいないいないばあを実施した。 ・駅前プラザにおける図書の予約本受け渡しサービスを開始し、リサイクルフェアを実施した。 ・日野市との図書館相互利用の協定を締結した。 ・中央図書館の2階和式トイレ3基の洋式化を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館では現代的課題や地域・生活の課題などの様々なテーマを取り上げ、市民の自主的な学びを促し、学習が地域還元されるよう社会教育を実践していく。 ・「生涯学習振興・推進計画」を策定し、計画に基づく事業の実施及び検討を行っていく。 ・公民館の外壁改修工事を実施する。 ・若者支援事業、中高生の学習支援事業を実施する。 ・第三次子ども読書活動推進計画に基づく事業を実施していく。 ・日野市との図書館相互利用を開始し、協定市(4市)との連携を図る。 ・中央図書館の1・3階和式トイレ3基の洋式化を行う。 ・図書館システムの更新を行い、貸出・閲覧業務を整備する。

(2) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等) 必要に応じて展開方向ごとに記載

総合基本計画及び30年度行政経営方針に照らして評価する

・市民の自己学習や地域力は把握しづらい側面があるが、公民館、図書館及び生涯学習課の活動によって、市民一人ひとりが生涯学習に取り組み、様々な学びを通して学習の成果を地域社会で活かすことを実施した。

・公民館では実施計画事業の中高生の学習支援参加者が前年度数から113名減少し、外国人向け日本語講座も338名減少し、取り組みが減退した。

・図書館では、図書リサイクル、社会福祉施設への訪問朗読サービスの実施回数が増加し、活動が活発化した。さらに、中学・高校生のYA実行委員会によるYAコーナー充実、参加型講演会の企画や、音訳資料の提供をはじめとするしょうがいしゃサービス、お話し・行事等の実施による児童サービスが定着するなど、市民に対し様々な学習効果を上げた。

・日野市との図書館相互利用の協定を締結した。

・第22期社会教育委員の会に諮問を行い、意見を聴取し庁内検討委員会にて「国立市生涯学習振興・推進計画案」の策定した。

7 施策の課題・今後の方向性 必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) R2年度の取組方針

・公民館主催事業や講座を中心に市民の学習意欲の向上や学びを地域社会に還元できる取り組みを実施する。又、引き続き、若者支援事業や中高生の学習支援事業などを実施していく。

・第三次国立市子ども読書活動推進計画に基づき関係機関と連携しながら事業を行っていく。

・生涯学習振興・推進計画に基づき関係機関と連携しながら事業を行っていく。

(2) 中期的な取組方針

多様化・複雑化する地域社会において、市民のニーズに沿った公民館・図書館主催事業や講座を開催し、生涯学習に関する市民意識や学習力の向上、学びを地域社会で活かす取り組みを展開する。

・市内の大学などの高等教育機関や地域関係団体、市役所他部課などと相互に連携した事業を展開し、生涯学習の環境づくりを醸成する。